

一歩先行く

Windows 7 活用テクニック

特別講座

第1回 ホームネットワークを構築する

この連載では、Windows 7で新しく追加された、あるいはより便利になった3つのお役立ち機能を紹介する。「ホームグループ」と「Windows Media Player」、「XPモード」だ。今回は、LANにつながったパソコン間でファイルやプリンターを共有するホームグループを見ていこう。
(田中 雄二=フリーライター)

Windows 7には、従来バージョンにはない便利な新機能が数多く用意されている。しかし、普通に使っている分には、あまり気が付かない機能もある。この連載では、そんな目立たない便利機能に焦点を当てて解説していく。

具体的には、①LANにつながったパソコン間でファイルやプリンターを共有する「ホームグループ」、②デジカメ写真やビデオなどをLAN経由で他のパソコンやAV機器に配信する「Windows Media Player」、

③Windows XPでしか動かないソフトを7で動かす「XPモード」、という3つの機能を取り上げる。

第1回となる今回は、「ホームグループ」によるファイルとプリンターの共有について見ていこう。

複雑な設定なしに共有

家庭で複数のパソコンを使い分けられているとき、面倒なのがファイルのやり取り。USBメモリーや外付けハードディスクに保存して持ち運べばよいのだが、いちいち機器をパソコン

に接続してファイルをコピーするのは面倒だ。

そこで活躍するのが、「ファイル共有」機能。LANを通じて、他のパソコンと直接ファイルをやり取りできるので、手間がかからない(図1)。

あるパソコンにUSBなどで接続してあるプリンターを、他のパソコンから利用できる「プリンター共有」機能も役に立つ。

どちらも相手のパソコンが起動中でないと利用できないので、職場などで本格的に運用するには、LAN型ハードディスクや共有機能を内蔵したプリンターといった専用機器を使ったほうがよい。しかし、簡単に共有環境を実現したいなら、この機能を利用するメリットは大きい。

ファイルやプリンターの共有は、Windows Vista以前では複雑な設定が必要だった。これがWindows 7パソコン同士なら、簡単な設定で安全に共有を可能にする「ホームグループ」という機能が利用できる。初心者でも戸惑うことは少ないだろう。ただし、XPやVistaパソコンと共有する場合は、従来のやり方で行う必要がある(図2)。

●他のパソコンのフォルダーやプリンターを共有する

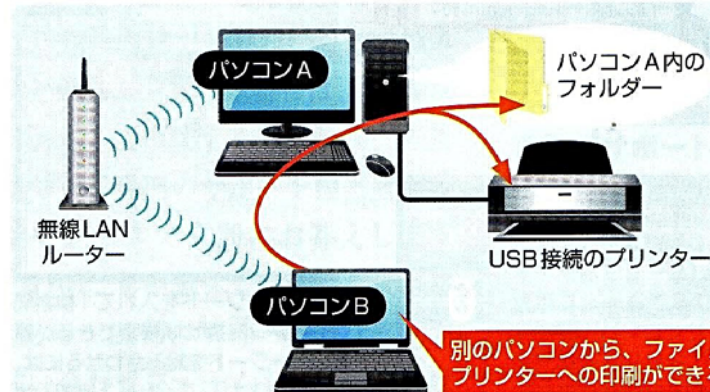


図1 家庭内LANに接続してあれば、別のパソコンにあるフォルダーの内容を読み書きする「ファイル共有」や、別のパソコンにUSB接続しているプリンターへ印刷する「プリンター共有」が可能だ

別のパソコンから、ファイルの読み書きやプリンターへの印刷ができる

1 すべてのパソコンがWindows 7▶「ホームグループ」機能を利用する

2 XP、Vista、7が混在する▶「ファイルとプリンターの共有」を利用する

図2 ファイルやプリンターの共有は、LAN上のパソコンがすべてWindows 7なら、新機能の「ホームグループ」を利用すると簡単。7やXPが混在しているときは、従来の共有機能を利用する

Windows 7同士なら「ホームグループ」が簡単

●「ホームグループ」を使って相互に共有する



図3 Windows 7の「ホームグループ」機能を使うと、簡単な操作で、ファイルを互いに読み書きしたり、プリンターを利用したりすることが可能になる

●ホームグループを作成する



図5 「…ホームグループはありません」と表示されるので、「ホームグループの作成」ボタンをクリックする

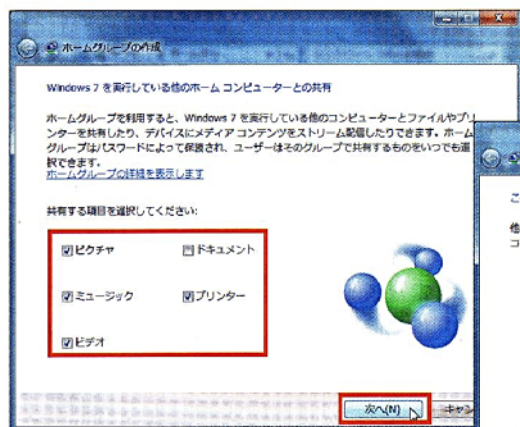
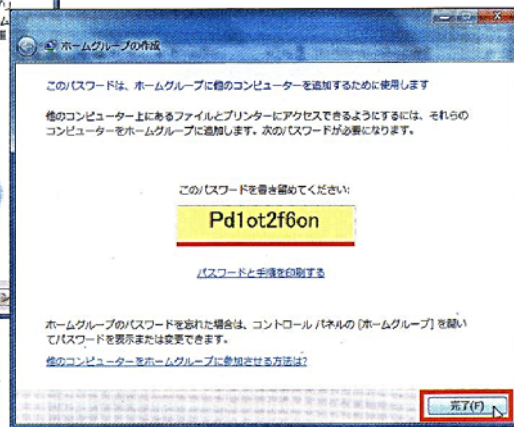


図7 次の画面で、パスワードが表示されるので、これをメモして「完了」をクリックする。これでホームグループが出来上がる

図4 コントロールパネルを開き、「ネットワークの状態とタスクの表示」を選ぶ。「ネットワークと共有センター」が開くので、「アクティブな…」の下が「ホームネットワーク」になっていることを確認し、「ホームグループ」の右にある「作成準備完了」をクリックする

図6 開く画面で共有したい項目を選び、「次へ」をクリック



Windows 7パソコン同士で利用可能な「ホームグループ」の使い方から見ていこう。ホームグループは、従来は設定が面倒だったファイルやプリンターの共有を、簡単に行えるようにするものだ(図3)。

まずホームグループ作成

ホームグループを利用するには、家庭内LANに接続したパソコンで、①最初の1台でホームグループを新規作成、②他のパソコンがホームグループに参加、という手順を踏む。

最初にホームグループの作成から始めよう。どれか1台のパソコンで、まずコントロールパネルから、「ネットワークの状態とタスクの表示」を選び「ネットワークと共有センター」を開く。「アクティブなネットワークの表示」の下が「ホームネットワーク」になっていることを確認。ここでのホームネットワークとは、不明な第三者が利用することのない安全なLAN環境のこと。基本的に家庭内LANなら安全なので、ホームネットワークを選ぶのが一般的だ。

ホームグループは、ホームネットワーク環境でしか利用できないので注意しよう。もしホームネットワークではなく「社内」「パブリック」などの設定になっていたら、名称部分をクリックして開く画面で、ホームネットワークに変更しよう。

次に、「ホームグループ」の右にある「作成準備完了」をクリックする(図4)。なお、Windowsの初期設定時などで、既にホームグループを作成済みなら、改めて作成する必要は

●パスワードを管理する

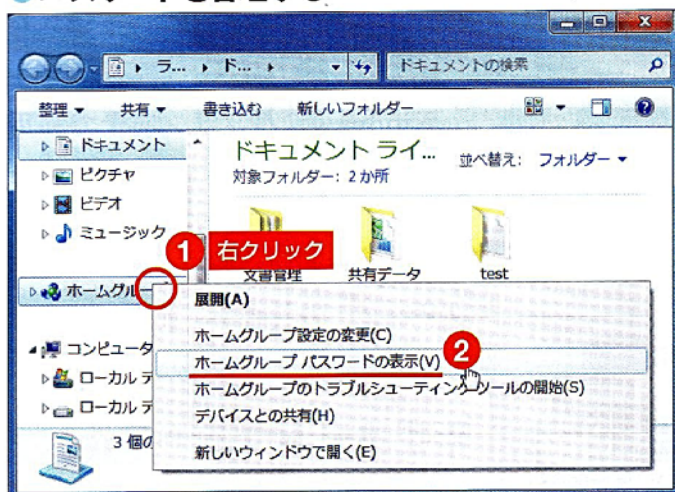


図8 パスワードを忘れてしまったら、フォルダーを開いた画面の左の一覧にある「ホームグループ」を右クリックし(①)、「ホームグループパスワードの表示」を選ぶ(②)。これで、図7のパスワードが表示される

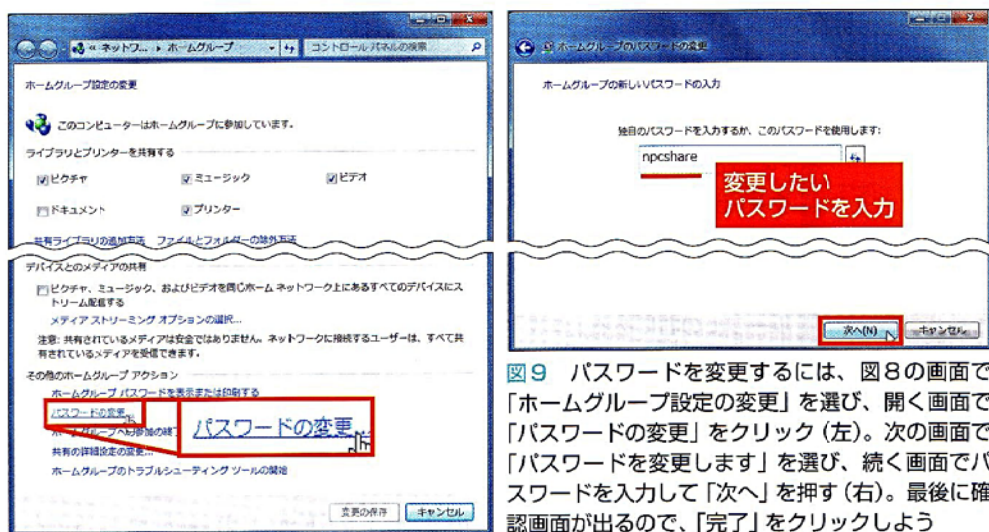
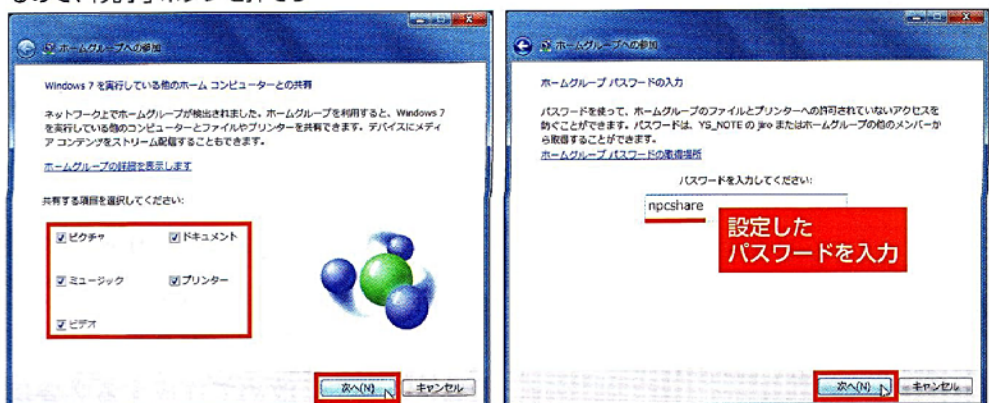
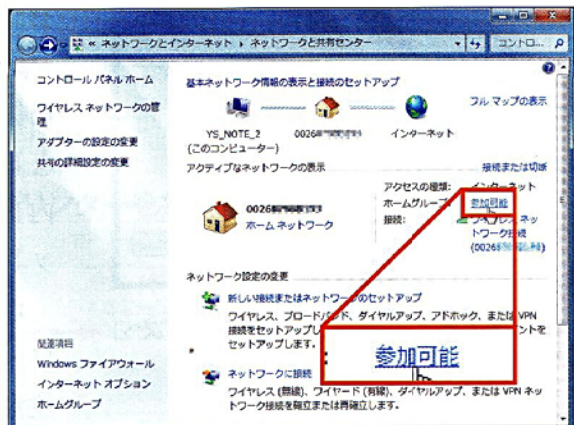


図9 パスワードを変更するには、図8の画面で「ホームグループ設定の変更」を選び、開く画面で「パスワードの変更」をクリック(左)。次の画面で「パスワードを変更します」を選び、続く画面でパスワードを入力して「次へ」を押す(右)。最後に確認画面が出るので、「完了」をクリックしよう

●ホームグループへ参加する

図10 2台目以降のパソコンでは、前ページ図4の手順で「ネットワークと共有センター」を開くと、「ホームグループ」の右の項目が「参加可能」となっているので、これをクリックする

図11 開く画面で「今すぐ参加」をクリックし、次の画面で共有したいライブラリなどを選んで「次へ」を押す(左)。パスワード入力画面が表示されるので、入力して「次へ」をクリックする(右)。問題がなければ「ホームグループに参加しました」というメッセージが表示されるので、「完了」ボタンを押そう



ない。その場合は、「作成準備完了」が「参加済み」などとなる。

次に開く画面では、「…ホームグループはありません」と表示されるので、「ホームグループの作成」ボタンをクリック(図5)。続く画面で、共有するライブラリやプリンターを選ぶ(図6)。ここでは、ライブラリ単位で共有の有無を設定する。チェックを付けたライブラリ内のファイルやフォルダーは、すべて他のユーザーに公開される。

もちろん、ライブラリ内の一部のフォルダーを非公開にすることも可能だ。ライブラリに登録していないフォルダーも、設定を変えることで公開できる(後述)。

最後にパスワードが表示されるのでメモしておこう。他のユーザーがホームグループへ参加するとき必要になる(図7)。パスワードを知らないで参加できないので安全だ。

パスワードは再表示も可能だ(図8)。また、Windowsが自動で生成したパスワードは、覚えやすいとは言えないので、もっと覚えやすい自分流のパスワードに変更することもできる(図9)。

ホームグループを利用する

2台目以降のパソコンでは、作成済みのホームグループへ参加する。このとき、1台目のパソコンは起動しておく。

まず図4の要領で「ネットワークと共有センター」を開き、アクティブなネットワークが「ホームネットワーク」になっていることを確認。ホームグループが作成済みの場合は、「ホームグループ」の右に「参加可能」

と表示される(図10)。これをクリックし、開く画面で共有するライブラリを選び、最後にパスワードを入力すれば、参加できる(図11)。

ホームグループに参加すると、フォルダーやライブラリを開いた画面の左側にある、「ホームグループ」の下に、他のユーザー名が表示される。これをクリックすると、相手が共有を許可しているライブラリやフォルダーが利用できる(図12)。もし、相手が見えないなどのトラブルが起きたら、図9右の画面を表示し、下にある「ホームグループへの参加の終了」を選んでいったん抜け、再起動してからやり直す。

ライブラリ内に、他のユーザーに公開したくないフォルダーがある場合は、右クリックメニューで共有を「なし」に設定する(図13、図14)。ここでは、データの読み取りのみを可能にするなど、アクセス権の指定も可能だ。また、ライブラリに登録していないフォルダーも、図13の操作で「ホームグループ(読み取り/書き込み)」などを選べば、共有できる。

プリンターの利用も簡単だ。スタートメニューから「デバイスとプリンター」を選べば、他のユーザーが

●共有プリンターで印刷する



図15 スタートメニューから「デバイスとプリンター」を開くと、共有プリンターが表示され、そのまま利用できる。プリンターの名前に、相手のパソコン名が含まれているので判別できる

●公開しているフォルダーを利用する

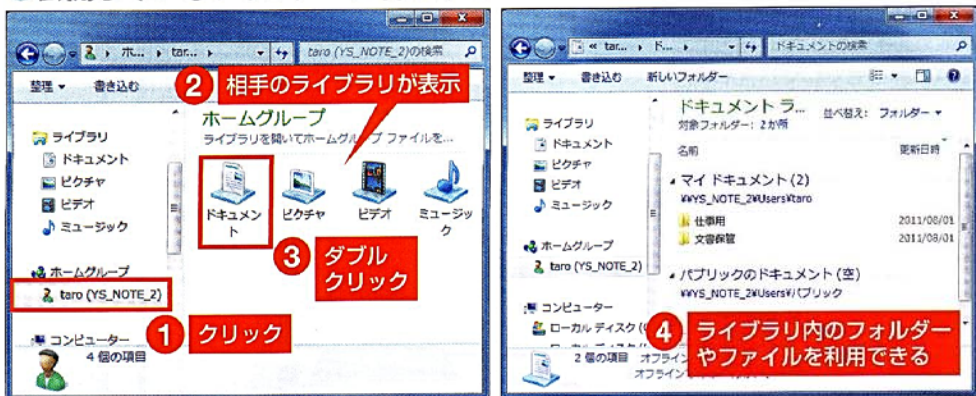


図12 ホームグループに参加すると、フォルダーを開いた画面で、左の「ホームグループ」の下に、他のメンバーの名前が表示される。それをクリックすると(①)、共有しているライブラリが表示される(②)。例えば「ドキュメント」をダブルクリックすると(③)、相手の「ドキュメント」内のファイルやフォルダーを利用できる(④)

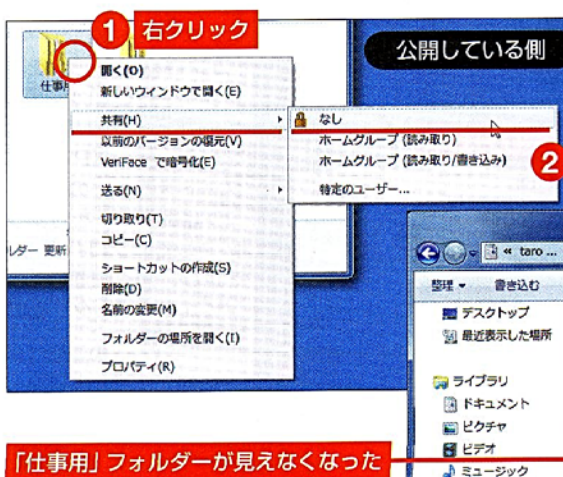


図13 フォルダーを他のユーザーに公開したくない場合は、フォルダーを右クリックして(①)、「共有」→「なし」を選ぶ(②)

「仕事用」フォルダーが見えなくなった

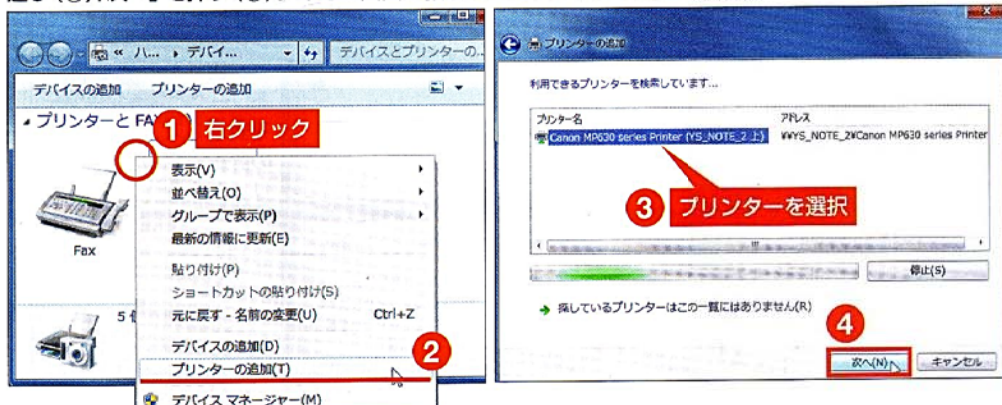
図14 すると相手には、そのフォルダーが見えなくなる

共有を許可したプリンターが表示される(図15)。これは、通常のプリンターと同じように扱える。

プリンターが見当たらないときは、「デバイスとプリンター」画面の背景部分を右クリックし、「プリンターの

追加」を選ぶ。ウィザードが起動するので、「ネットワーク…プリンターを追加します」を選び、表示される一覧からプリンターを選べばよい(図16)。図15のように、「デバイスとプリンター」画面に追加される。

図16 共有プリンターが見当たらないときは、背景部分を右クリックして(①)「プリンターの追加」を選ぶ(②)。開く画面で「ネットワーク…プリンターを追加します」を選び、次の画面でプリンターを選び(③)「次へ」を押す(④)。あとは画面の指示に従って作業すれば追加できる



XPやVistaと混在する環境で共有する

●Windows 7パソコンのフォルダーを共有する



図17 Windows 7パソコンのフォルダーやプリンターを、Windows XPパソコンから利用してみる

●まずはワークグループ名などを確認

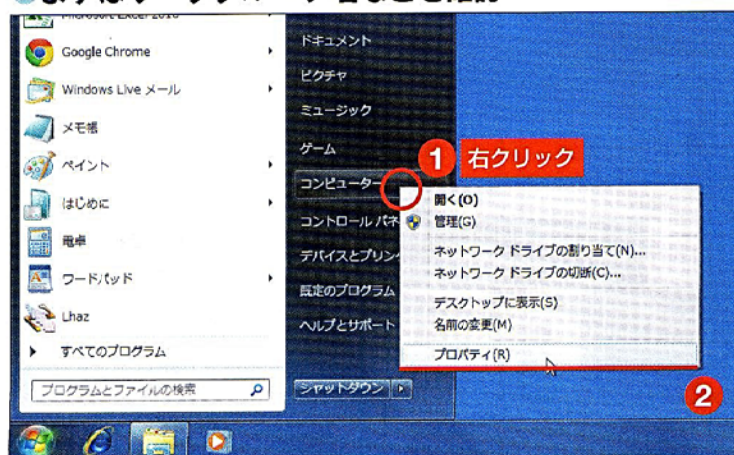


図18 Windows 7では、スタートメニューの「コンピュータ」を右クリックして①、メニューから「プロパティ」を選ぶ②。XPではスタートメニューの「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選び、開く画面の「コンピュータ名」タブを表示する

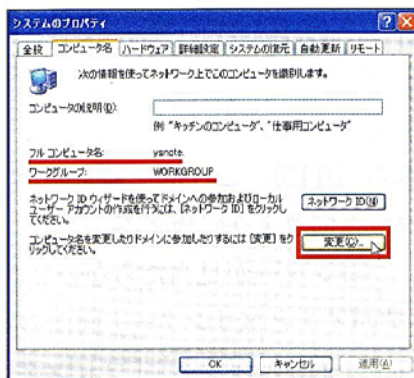
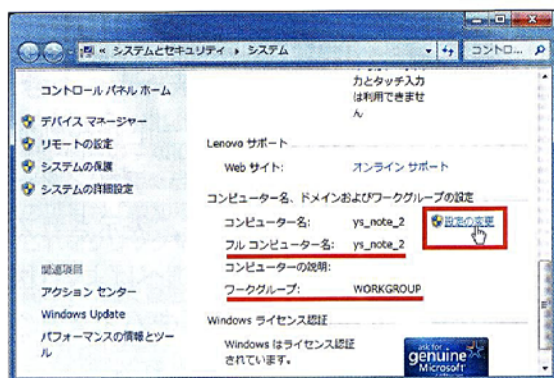


図19 Windows 7(左)とXP(右)で、フルコンピュータ名がきちんと入力されていて、ワークグループ名が同じになっていることを確認する。もし違っていたら、Windows 7では「設定の変更」をクリックし、次に「変更」ボタンをクリックして表示される画面で変更する。XPでは、「変更」ボタンをクリックして表示される画面で変更する



図20 Windows 7のフォルダーを共有するには、図4の手順で「ネットワークと共有センター」を表示して、左の「共有の詳細設定の変更」をクリックする

続いて、Windowsのバージョンが異なる環境での、ファイルやプリンターの共有方法を見てみよう。例として、Windows 7パソコン内のフォルダーを、XPパソコンから読み書きできるようにする(図17)。話を簡単にするため、どのユーザーでもパスワードなしで利用できる簡易共有の方法を紹介する。セキュリティは高くないので、安全な家庭内LANに限った利用をお勧めする。

共有の設定をする前に、各パソコンで確認すべきことがある。「コンピュータ名」がきちんと入力されていることと、「ワークグループ名」がすべてのパソコンで同じになっていることだ(図18、図19)。

Windowsでは、このワークグループ名で、パソコンがLAN内の同じグループにいと判断する。もしワークグループ名が違っていると、共有フォルダーが見えないなどのトラブルの原因になる。違う場合は変更して、すべてのパソコンのワークグループ名を統一しよう。

共有の設定を変更する

確認を終えたら、共有の設定だ。まずWindows 7パソコンで、共有を許可するように設定を変更する(図20、図21)。これで、「パブリックのドキュメント」「パブリックのピクチャ」などのパブリックフォルダーが共有可能になる。そこに共有したいファイルを置こう(図22)。

Windows XP側では、「マイネットワーク」を開くと、Windows 7側のフォルダーが見える。それを開い

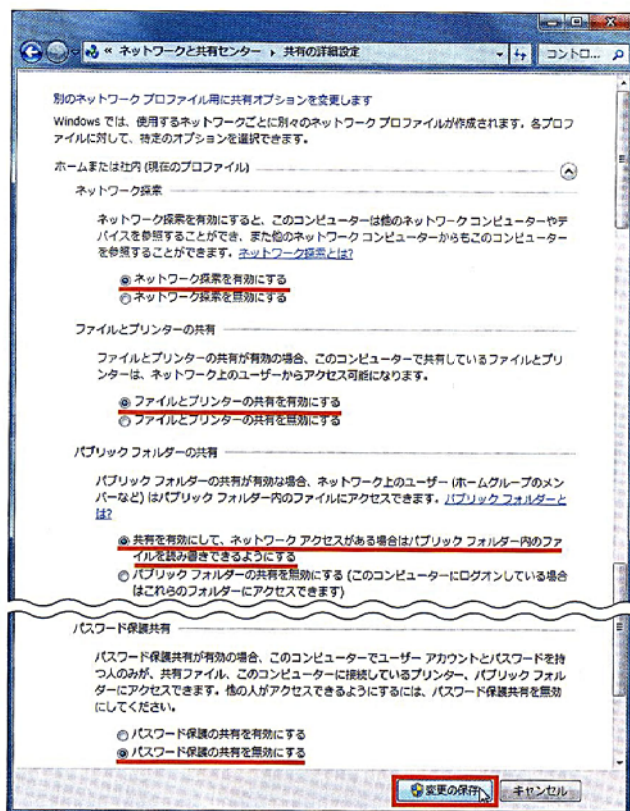


図21 開く詳細設定画面で、「ネットワーク探索を有効にする」「ファイルとプリンターの共有を有効にする」「パブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」「パスワード保護の共有を無効にする」をチェックし、最後に「変更の保存」を押す

ていけば、ファイルを利用できる(図23、図24)。もし見えない場合は、図23の左側にある「ワークグループのコンピュータを表示する」を選び、相手のコンピュータ名のアイコンからたどる。

なお、マイネットワークがスタートメニューにないときは、「マイドキュメント」を開き、ツールバーの「上へ」ボタンをクリックして、1つ上の階層を表示する。すると、一覧の中にマイネットワークが現れるので、ダブルクリックして開こう。

共有を有効にすると、Windows 7 パソコンに接続しているプリンターも利用できるようになる(図25)。スタートメニューの「プリンタとFAX」に共有プリンターが見当たらない場合は、「プリンタの追加」機能を使って、登録すればよい(図26)。

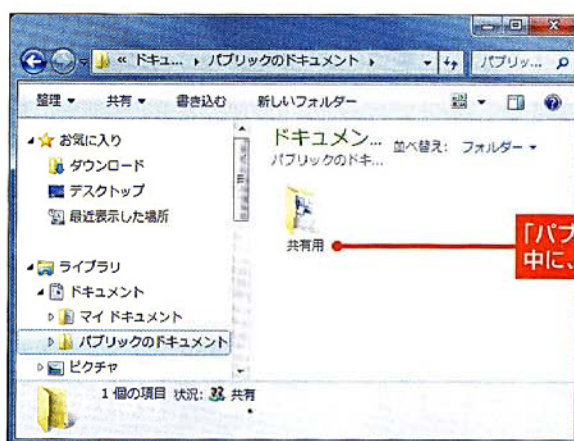


図22 これで、「パブリックのドキュメント」などがXPパソコンから利用可能になる。この中に、共有したいファイルやフォルダーを入れよう

「パブリックのドキュメント」の中に、共有データを入れる



図23 Windows XP側では、スタートメニューの「マイネットワーク」を選ぶと、Windows 7のフォルダーが表示される

Windows 7パソコンの「ユーザー」フォルダーが見える

フォルダーをたどり、共有データを読み書き

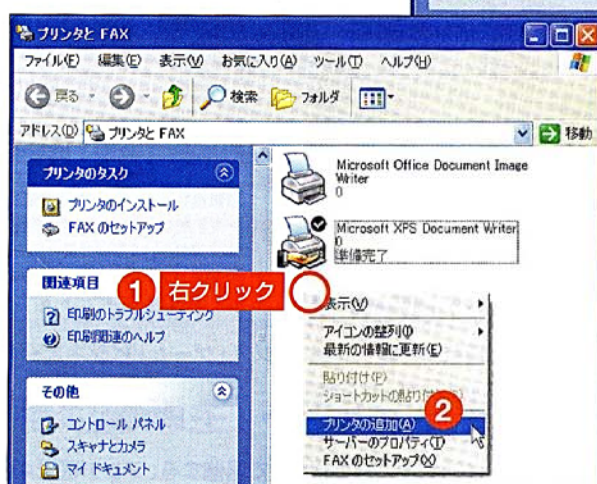


図24 図23のフォルダーをダブルクリックし、「Public」→「Documents」とたどると、Windows 7側の「パブリックのドキュメント」を利用できる

図25 Windows 7パソコンに接続したプリンターもこの設定で利用できる。「プリンタとFAX」で表示されない場合は、背景を右クリックして(①)「プリンタの追加」を選択(②)

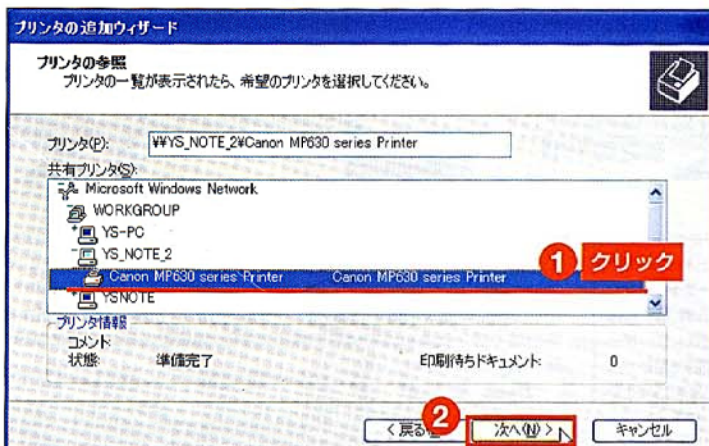


図26 ウィザードが起動するので、途中の画面で「ネットワークプリンタ...」→「プリンタを参照する」と選び、Windows 7のコンピュータ名をダブルクリックして、下に表示されるプリンターを選ぼう